

## 「カーボンニュートラル袋」を関東地区全てで導入

太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：不死原正文）は、関東地区で販売する袋体の普通ポルトランドセメント全てについて\*、バイオマスプラスチックを採用した「カーボンニュートラル袋」（以下、CN袋）へ切り替えました。

セメント袋は品質保持のため多重構造となっており、中間層にはプラスチックフィルムを使用しています。当社は2021年8月に国内セメント業界で初めて、この中間層フィルムをバイオマスプラスチックに置き換えたCN袋の採用を決定しました。これまでに耐久性等の評価テストを重ね、この度、関東地区で販売する全ての普通ポルトランドセメントの袋をCN袋へ切り替えました。（写真1、図1）

このCN袋は化石資源の使用量削減とCO<sub>2</sub>削減に寄与できるものであり、関東地区において全量を切り替えたことで、年間約15.9トンのプラスチック削減と、年間約49.5トンのCO<sub>2</sub>排出を削減できると見込んでいます。当社は今後、導入エリア、セメント品種を順次拡大し、全国への展開を目指します。

当社グループは「カーボンニュートラル戦略 2050」を掲げ、セメントキルン排ガスからのCO<sub>2</sub>分離・回収やCO<sub>2</sub>を新たに資源として活用するなどのCCU技術開発とともに、CN袋などの導入を進め2050年にサプライチェーン全体でのカーボンニュートラル実現に向けて取り組んでまいります。

※：一部OEMでのセメントを除く。



写真1 CN袋(普通ポルトランドセメント 25kg)

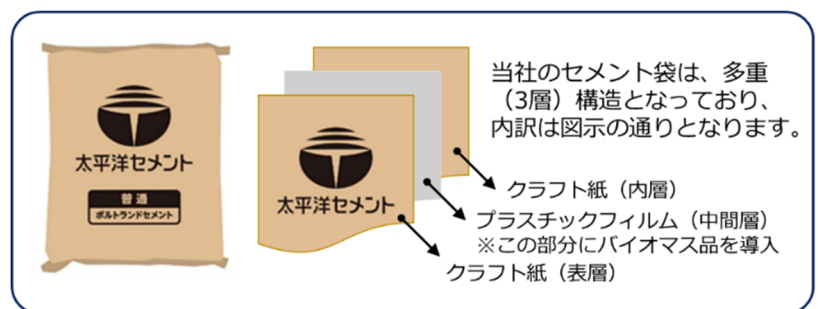


図1 セメント袋のつくり（模式図）

＜本件に関するお問い合わせ先＞

太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ  
TEL. 03-5801-0334 FAX. 03-5801-0344  
e-mail. ir-com@taiheiyo-cement.co.jp